



年月不詳十月六日付け仙石忠政書状（仙石家17—11号）

（手）

返々、てのみ事さ、

はんのよきこと、

申はかり

さすかく、

さてく、せつかく

あいたや、く、

かしく、

二つうのふみあい

申とそんし、まん

そく、く申候、何

事なく、そく

さいあそひ申され候

よし大慶々々に候、

さるの事、とり・

いぬの事、心へ申候、

きのふつき候て

から、はうく

たつね申候間、やかて

つかはし候べく候、

こせうの事、これ

又心へ申候、く、

ここもとすいふんひ

まをあけ、かへり、

あい可申候、

せつかくなくさみ

尤候、く、今朝

これより人をつか

はし候まま、さう

く申し候、やかて

（板橋）

かへり、いたばし  
まてむかいにいて  
られ候べく候、その  
折ふし可申候、く、  
めてたく  
かしく、

十月六日 忠政（花押）

（政勝）

おまん

まいる返事

【翻刻作成】豊岡市立歴史博物館